

## 入稿時の注意事項 Illustratorの場合

対応バージョン

Illustrator 8.0.1J    Illustrator 9.0.2J    Illustrator CS    Illustrator CS2

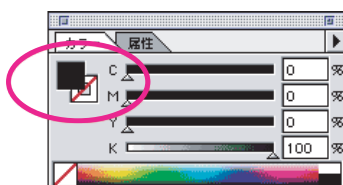
下記の注意事項に注意してデータの制作を行って下さい。

- トンボ作成での注意事項
- 罫線での注意事項
- フォント（書体）のアウトラインでの注意事項
- 画像を埋め込む機能での注意事項
- 塗り足しについての注意事項
- カラー設定での注意事項
- CS・CS2でのラスタライズ注意事項
- サイズの確認
- 書類設定（Illustrator9.0,10使用の場合）

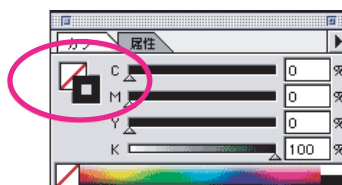
・データの保存を行う場合は、Illustrator形式（EPS・PDFにはしないで下さい。）  
WindowsはAiにしてください。

- トンボ作成での注意事項
  - ・トンボは必ず付けて下さい。
  - ・Illustratorのバージョンによってトリムマークの入っている場所は異なりますが方法は同じです。
  - 1. まず、仕上がり用紙サイズと同じサイズのボックスを制作します。次にそれをガイドラインにします。
  - 2. そのガイドラインのロックをはずして選択し、「フィルタ」→「クリエイト」→「トリムマーク」でトンボを作成します。
  - 3. トンボの線を選択し線の指示をCMYKの4色100%で、太さは0.2か0.25ptで指定して下さい。

【図2】



【図3】



### 注意！

・オブジェクトからのトンボ作成は使用しないで下さい。

- 罫線での注意事項
  - ・罫線の指示が「塗り」だけで設定されるとモニターやプリントでははっきり表示されませんが、印刷では非常に細い罫線として印刷されたり、場合によっては、印刷されないことがあります。
  - ・塗りだけで設定された線のことを「ヘアライン」といいます。罫線を設定するときは必ず「線」に色を付けて線幅を0.3pt以上で設定して下さい。0.3pt以下の罫線は印刷では線がかすれるおそれがあります。
  - 【図2】での設定で罫線を使用しないで下さい。必ず【図3】の設定で罫線を使用して下さい。

- フォント（書体）のアウトラインでの注意事項
  - ・文字化けなどのトラブルを避けるため、全てのフォントに対してアウトラインをかけてください。
  - 1. すべての文字にロックがかかっていないか確認します。  
「オブジェクト」→「すべてをロック解除」
  - 2. 次に選択ツールで、すべてを選択をして「文字」→「アウトライン作成」
  - 3. 「文字」→「フォントの検索・置換」でフォントが表示されなければ、すべてアウトライン化されたことになります。最終的に確認して下さい。

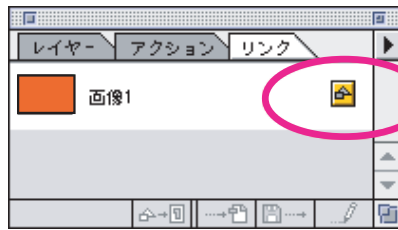
### 注意！

・Windowsも同様にアウトライン化して下さい。

- ・アウトライン処理をお忘れになられた場合、再入稿して頂きます。
  - ・アウトラインをとられる前のデータは必ずお客様のほうで保存しておいて下さい。
- (一度アウトライン化をして保存しますと、アウトラインをかける前のデータに戻すことはできませんし、文字の変更も不可能になります。ご注意ください。)

● 画像を埋め込む機能での注意事項

【図4】



- ・配置した画像は埋め込みでなくリンクを推奨しておりますが、Illustrator9.0以上で透明の処理が行われたものに関しては、画像を埋め込んで下さい。配置した画像を埋め込むと、ファイルの容量が非常に大きくなります。その代わりに使用した画像ファイルはIllustratorファイルと一体化するので、リンク画像の名前変更などによるリンクはずれの心配はなくなります。

・リンクして配置した画像でリンクパレットの右端に黄色のマークがあるものは画像の埋め込みを行って下さい。

※ご入稿される際は、念のため埋め込まれた画像の元の画像（加工済みのもの）も一緒にご入稿ください。

● 塗り足しについての注意事項

- ・塗り足しは3mmつけて下さい。画像やイラストなど塗り足しがない場合、再度修正してデータを再入稿して頂きます。
- ・製作の段階で塗り足しの分の画像を確保して下さい。

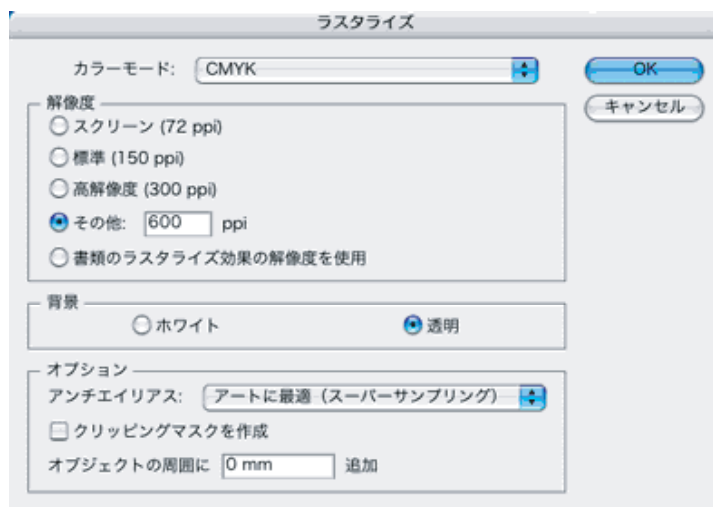
● カラー設定での注意事項

- ・4色の総ベタは使用しないで下さい。裏写りやトラブルの原因となります。
- ・締まった黒を表現されたいときはBK100+C40に設定して下さい。
- ・Illustratorのプロセカラーのオーバープリントはトラブルの原因となります。
- ・オーバープリントブラックの作業は弊社の出力機（GTP）が自動で行いますので、お客様の方でその作業は不要です。

● CS・CS2でのラスタライズ注意事項

- ・IllustratorCS・IllustratorCS2で作成されたデータの中にドロップシャドウ（影）や透明（すかし）の機能を使用されたとき、背面に画像がある場合は、ロップシャドウ（影）や透明（すかし）と埋め込まれたバックの画像を一緒にラスタライズして下さい。

1. バックの画像を埋め込みます。  
「画像を選択」→「リンク」→「画像を埋め込み」
2. ドロップシャドウ（影）・透明（すかし）とバックの画像にラスタライズをかけます。  
「影・すかし・バック画像を選択」→「オブジェクト」→「ラスタライズ」
3. ラスタライズのカラーモードからCMYKを選択し、解像度のその他に600ppiと入力します。背景は透明にしてください。（例：図5）



● サイズの確認

- ・仕上がりサイズの確認を行って下さい。

- 例) B5 182×257  
A4 210×297  
B4 257×364  
A3 297×420

(210.8×298.4などの少し大きかったり小さかったりと微妙なサイズの誤り  
が、たまにあります。きっちりしたサイズでボックスを作ってからトリムマ  
ークを付けて下さい。)

- ・A4巻き三つ折り制作での注意事項  
A4サイズは210×297です巻き三つ折りでは基本的に仕上がりサイズは100 × 210です。なので折り罫の位置は表になる部分を100、裏にくる部分を100、 中に 織り込む部分を97mmにして下さい。

☆アウトプット

- ・Illustrator8.0では、属性にある  
アウトプットを 800にして下さい。



☆カラーモードの確認

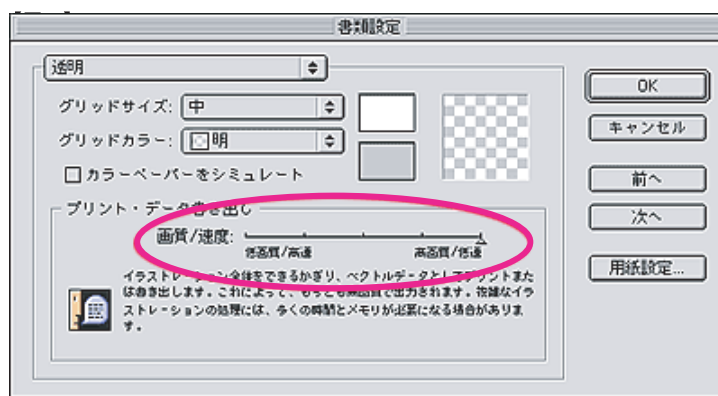
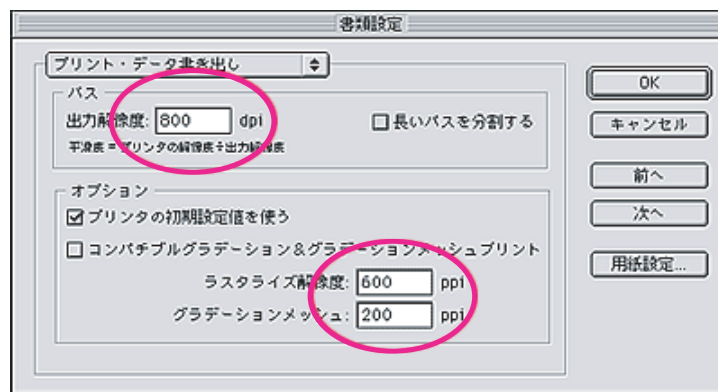
- ・Illustrator8.0では  
「ファイル」→「書類のカラーモード」  
→「CMYKカラー」に設定して下さい。

☆パレットオプション

- ・Illustrator10.0では画像リンクの項目にあるパレットオプションの下端にある  
「透明の影響を表示」にチェックして下さい。

● 書類設定 (Illustrator9.0, 10.0使用の場合)

- ・「書類設定」→「プリントデータ書き出し」でバスの出力解像度を800dpiに  
します。
- ・オプションの項目でラスター解像度を600ppi、グラデーションメッシュ  
を200ppiに設定して下さい。
- ・「書類設定」→「透明」でプリント・データ書き出しの画質/速度のバーを高画  
質/低速（一番右端）にして下さい。
- ・Illustrator9.0, 10.0ではここでの設定をきっちり行わないと文字などにジャギ  
が出るおそれがあります。必ず設定して下さい。（例：【図7】【図8】）
- ・バージョンによって表記のしかたは違います。



入稿時の注意事項 Photoshopの場合

下記の注意事項に注意してデータの制作を行って下さい。

- 画像モードについて
- 画像解像度について
- レイヤー作業の写真データの注意事項
- 画像保存の際の注意事項

- 印刷物等スキャニング&色補正などの注意事項
- 弊社にてスキャニング依頼する場合の注意事項
- イラストレーターにリンク画像を埋め込み&貼り込みをする際の注意事項

● 画像モードについて

- ・ RGBカラーで、ご入稿しないで下さい。スキャニングデータやデジタルカメラ等のRGBデータは、CMYKカラーに変換して下さい。

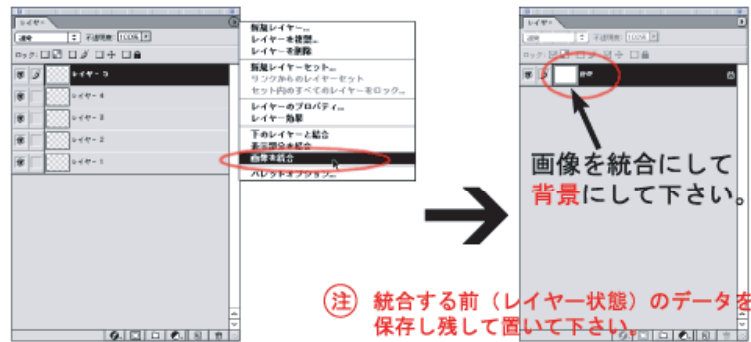
● 画像解像度について

- ・ 画像解像度が72dpiなどもしくは、他の解像度（デジタルカメラデータ等）は、350dpiに変換をお願い致します。  
メニューのイメージ>画像解像度にて確認して下さい。  
※但し、グレースケールモードのデータは266dpi、線画2階調モードのデータは、600dpiをお願い致します。



● レイヤー作業の写真データの注意事項

- ・ 画像の統合をします。



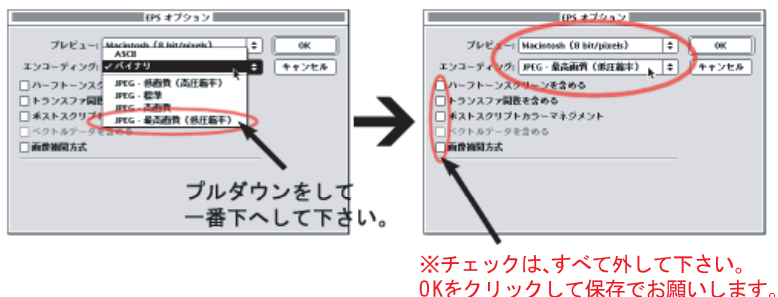
● 画像保存の際の注意事項

- ・ Photoshop EPS形式で保存して下さい。

※6.0以下のバージョンでは、レイヤーを統合しないとEPS形式での保存はできません。



- ・ プレビュー：Macintosh (8bit/pixels)
- ・ エンコーディング：JPEG-最高画質（低圧縮率）



● 印刷物等スキャニング&色補正などの注意事項

- ・ 印刷物をスキャニングするとモアレが生じます。モアレ等除去は弊社では行いませんので、お客様の方で、ぼかし（ガウス）や輪郭外をぼかす・シャープ等を使用してモアレ除去等をお願いします。
- ・ 色補正についても補正された画像をご入稿下さい。

- 弊社にてスキヤニング依頼する場合の注意事項
  - ・お客様の思われてる色と違いがある場合がございます。  
尚、弊社に色目をまかせる場合は、お客様に付けて頂いた色見本と弊社で「最も美しいと思われる色」にそって刷り上げますが、いったん任せていただいた色の仕上がりについては、刷り直しは致しません。
- イラストレーターにリンク画像を「埋め込み&貼り込み」する際の注意事項
  - ・埋め込みされた画像でも出力（印刷）出来ませんが、念の為、埋め込みする前の写真データも添付して下さい。出力時に画像によるエラーが出た場合に貼り直しする場必要があります。
  - ・必要以上に大きな画像&小さな画像の貼り込みをしないようお願い致します。

例）写真サイズ50mm×50mmの画像を500mm×500mmに拡大したり、500mm×500mmの画像を50mm×50mmに縮小されるのはご遠慮下さい。あまり写真サイズが大きすぎたり、小さすぎたりしますと仕上がりも悪くなりますし出力エラーの原因にもなります。あくまでも原寸サイズで写真データの貼り込みをお願い致します。サイズの変更はフォトショップで行って下さい。（● 画像解像度に

## 入稿時の注意事項 InDesign CSの場合

弊社のバージョンはInDesignCSのみです。  
InDesignCSでページ物をご入稿されるお客様は、弊社までご相談下さい。

## 入稿時の注意事項 Microsoft Officeの場合

Microsoft Office系アプリケーションで作成されたカラーはRGBで表現されていますが、印刷用インキではCMYKで表現いたしますので、お客様が作成されたデータの色とは実際には異なります。

弊社でデータ変換処理を行います。『文字ずれ・書体の置き換え・画像の抜け』などさまざまなことがおきますので、データ変換処理後は、必ずお客様にメールか簡易校正出力を郵送を送信いたしまして、データのご確認をしていただいております。

### ☆納期はお客様の確認画像のご返事が非常に重要になります。

受付当日、Officeデータをご入稿いただきましても、データ変換とお客様への確認画像送信等の処理過程がありますので、すぐに受付日確定とはなりません。

### ☆変換料金

変換処理料金：片面1ページにつき1,000円

### ☆再入稿される場合

再変換処理料金：片面1ページにつき1,000円

### ☆キャンセルされる場合

当店より確認画像を送信した時点でOffice変換料金が発生します。  
Office変換料金はお支払いいただく必要がございます。

- データ入稿（お客様→弊社）
  - ・ご入稿後、データ変換・確認画像送信の処理に移るには**最低でも24時間の作業時間**をいただきます。その点を考慮された上でご入稿ください。ファイル破損などで再入稿となった場合、入稿時間帯によっては翌日の確認画像送信となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
  - ・ご入稿される際は、**念のため埋め込まれた画像の元の画像（加工済みのもの）も一緒にご入稿ください。**
- データ変換処理後、確認画像送信（弊社→お客様）
  - ・変換処理で、文字ずれ・書体の置き換え・画像などの抜けが発生していないか、送っていただいたスクリーンキャプチャもしくは、プリントアウトしたものと比較して確認した上で、お客様に変換後の確認画像を送信いたします。
  - ・変換料金にはデータの修正代は含まれておりません。  
（文字の欠損・画像の抜けを除く）※（～画像の抜けを除く）とありますが、ご入稿時に元の画像データも一緒に添付されてない場合は、作業に遅れがでますので、料金が別途にかかります。